

キャンドルのつどい

第1部・第2部・第3部の3部構成で行う。第1部は点火、第2部はレクリエーションや出し物、第3部は納火が基本的な流れであるが、各団体がオリジナルのものでも良い。

対象				時期				時間				
どなたでも				通年				1時間～2時間				
期待される活動の効果												
思 考 力	判 断 力	表 現 力	能 力 シ ン ク ン	コ ミ ュ ニ ケ ー ション	体 力	生 命 の 尊 重	感 動 す る 心	知 識 ・ 技 能	協 調 性	主 体 性	問 題 解 決 力	課 題 発 見 力
○		○					○		○			
準備物												
〔自然の家が準備できるもの〕 □ロウソク付きキャンドル台 □女神の衣装 □大トーチ（2本）、小トーチ（5本） □着火マン □CDデッキ □CD □進行例プリント、言辞例プリント						〔団体・利用者が準備するもの〕 □必要な曲 □ゲームや出し物で使用する物 □言辞例（女神の言葉など）や歌、全体の動きの練習 □役割分担						

【プログラムの流れ】

- 1 リハーサル（各係の動きや流れの確認を行う。※本番開始45分前目安）
- 2 参加者、各係がスタンバイ
- 3 本番前の指導者からのお話（キャンドルのつどいを行う意味、目的）
- 4 本番（各団体が決めたオリジナルの流れで実施。※別紙「キャンドルのつどい実施例」参照可）
- 5 片付け・借用物返却
- 6 終了

【活動の留意点】

- 活動中は、火の取り扱いに十分留意して進行する。
- メインキャンドルに火をつけるときは、上部の遠いキャンドルから火をつける。
- 当日までに事前の流れや出し物の練習が必要。

